

DELTMMAN

自動水栓
デルマン

取扱説明書（保証書兼用）

0101-RB200D-04（2023.09.15）

品名 壁埋め込み型小便器センサ再生キット

RE BORN α （リボーン アルファ）
壁面内完結タイプ

型式 RB-200D（乾電池式）

このたびは、自動水栓デルマンをご購入頂き、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。なお、本取扱説明書の内容及び製品の仕様については、予告なく変更する場合がございます。

1. 製品保証書

2. 各部の名称

3. 製品仕様

4. 使いかた

5. 流量の調節

6. 各機能の設定

7. 電池交換の方法

8. お取付け方法

9. お手入れ方法

10. こんなときは？（よくあるご質問）

11. 安全上のご注意

12. 保証規定

1. 製品保証書

本書は下記に明示された期間において、保証規定における無料修理をお約束するものです。お買い上げの際に必要事項をご記入ください。記入のないものは無効となる場合があります。なお、記載されたお客様の個人情報は修理対応の目的以外では使用いたしません。本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

お客様	ご芳名		TEL	
	ご住所	都道府県 市区郡		
販売店	社名		TEL	
		都道府県 市区郡		
保証期間		1年間	品名	REBORN α （リボーンアルファ）
お買い上げ年月日		シリアル番号		

株式会社 バイタル

〒385-0034 長野県佐久市平賀 900

TEL 0267-62-4537

FAX 0267-62-4626

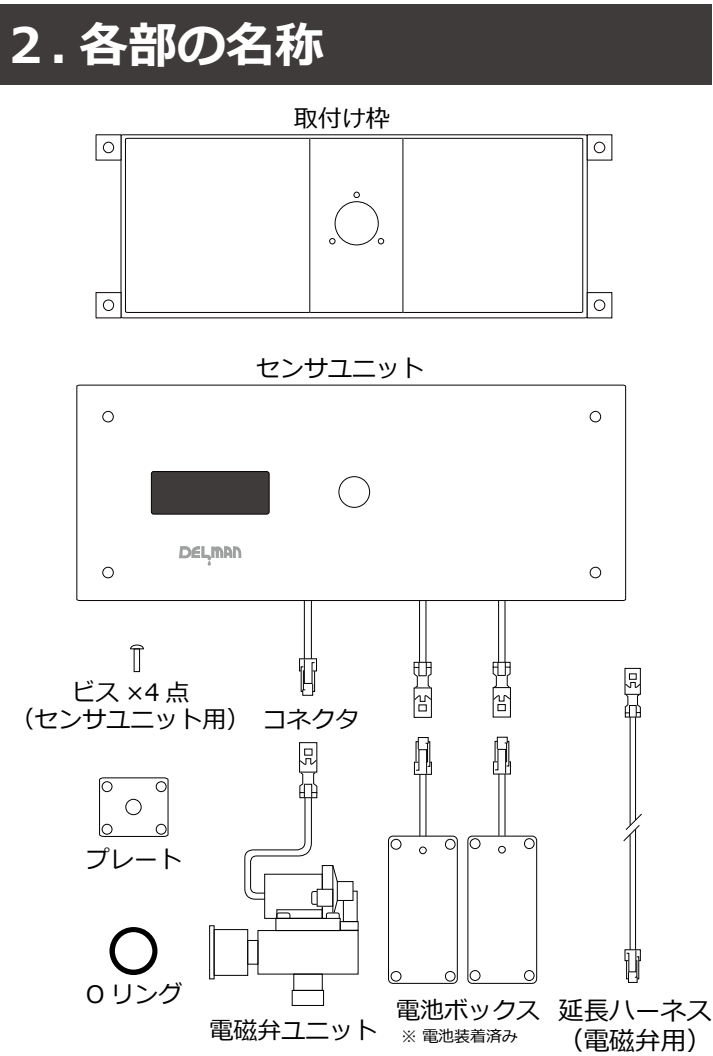
E-mail info@vaital.co.jp

故障・修理等お問い合わせ
→サービス窓口 直通番号

TEL 0267-62-4532

FAX 050-3730-9487

デルマン 検索



3. 製品仕様

電 源	DC6V（単 3 アルカリ乾電池 4 本）
電 池 寿 命	約 10 年（1 日 100 回 前洗浄「無」時 ※）
耐 圧	1.75MPa 1 分間
使用圧力範囲	0.05 ～ 0.75MPa
使用温度範囲	1 ～ 40℃以内
使用水温範囲	1 ～ 40℃以内
使 用 流 体	上水（氷結、ゴミ等の異物の混入がないこと）
感知距離設定	400mm・600mm 切替え方式
前 洗 浄 機 能	有（2 秒）・無 切替え方式
本 洗 浄 機 能	4 秒・6 秒・9 秒・12 秒 切替え方式
手動洗浄機能	手動スイッチを 1 秒長押しすると洗浄
保守洗浄機能	最終使用後 8 時間ごとに自動洗浄
凍結防止機能	気温 3℃以下になると 1 5 分ごとに洗浄
L E D 表 示	◆電圧低下時 →赤色 LED 点滅（3 秒に 1 回） ◆異常検知時 →赤色 LED 点滅（1 秒に 1 回）

※電池寿命は、パナソニック製エボルタ乾電池を使用し、温度環境を 2 0℃として計算した場合の目安であり、ご使用環境等により変動することがあります。また、パナソニック製エボルタ乾電池以外のものをご使用の場合は、同環境で約 5 年となります。なお、交換する電池は必ず同一メーカーのもので新品 4 本をご使用下さい。

4. 使いかた

基本動作

本体の前に立つと、センサが感知して洗浄（前洗浄）を行います。その後、一定時間が経過した後に離れると、自動的に洗浄（本洗浄）を行います。

手動スイッチによる洗浄

センサユニットを取外し、センサ背面の手動スイッチを 1 秒以上長押しすると、洗浄が行われます。清掃の時などにご活用ください。

※前洗浄が「無」の設定の場合は、前洗浄は行われません。各機能の設定については「6. 各機能の設定」を参考にして下さい。

※本体の前に立つ時間が短い（8 秒未満）場合は、本洗浄は行われません。

※黒い衣服は感知しにくいことがあります。

※設備保護のため、使用していない時にも水が流れることがあります。

5. 流量の調節

センサユニットを取外し、マイナスドライバーで止水栓を操作することで調節することができます。

※ 上記方法で改善されない場合やご不明な点は、弊社サービス窓口へご連絡ください。

6. 各機能の設定

センサユニットを取外し、裏側にあるディップスイッチの切替えにより、下記の設定を変更することができます。変更後は手動スイッチを 1 秒以上長押し（洗浄）で、設定変更が完了します。

スイッチ番号	1・2	3	4
設定項目	本洗浄秒数	前洗浄	センサ距離
スイッチ位置	4 秒 ON 1 2	有 3	400mm 4
	6 秒 ON 1 2		
	9 秒 ON 1 2	無 3	600mm 4
	1 2 秒 ON 1 2		

【例】 本洗浄 9 秒、前洗浄なし、センサ距離 400mm の設定にしたい場合、右図のようにスイッチを変え、手動スイッチを 1 秒以上長押しする。

7. 電池交換の方法

センサユニットを取外し、電池ボックス ×2 個を取り出します。

プラスドライバーで電池ボックスを開け、合計 4 本すべての電池を新しい電池と交換します。正しい方向に装着し、もとに戻します。

⚠

※電池を濡らさないようご注意ください。

※同一メーカーのもので新品の単 3 アルカリ乾電池 4 本をご使用ください。

※マンガン乾電池、オキシライド乾電池、充電式電池には対応しておりません。

8. お取付け方法

▲ 作業前に下記の事項を必ずご確認ください。

- 既存品の外枠と壁面内ボックスの位置が大きくなりすぎていたり、施工手順通りに設置されていない場合は設置ができないことがあります。
- AC100V 式の場合は、必ず電源ブレーカーを落としてから作業してください。
- 電気配線には絶縁処理など事故防止のための適切な処置を施し、電気工事は必ず有資格者（電気工事士）が行ってください。
- 既存の配管、止水栓、洗浄管、継手部、構造部などに漏水がないことを確認してください。

■ センサパネルを外す

■ 天板のカバーを取外し、固定ビスを外して既存のセンサパネルを取外します。

止水栓を閉じブラケットを外す

止水栓
ブラケット
洗浄管

固定金具 2点
ビス 4点
洗浄管ソケット

■ マイナスドライバで止水栓を閉じモンキーレンチで洗浄管を外します。
4点のビスを外し、ブラケットを取外します。**※外したビス4点と固定金具2点及び洗浄管ソケットは再利用します。**

電磁弁、ダイヤフラム、発電ユニットを取外す

ダイヤフラム
電磁弁
ファスナー
ホース (バンド)
発電ユニット

■ ファスナーを外し、ホースバンドを緩めて、発電ユニットを取外します。
また4点のビスを外して電磁弁をとダイヤフラムを抜取ります。※外したビス（4点）、ファスナー、ホース及びホースバンドは再利用します。

止水蓋、電磁弁ユニットを接続する

■ 止水蓋、電磁弁ユニットを接続する

プレート

既存のビス

既存のファスナー

Oリング (付属のものとの交換)

電磁弁ユニット

既存のホース
及びホースバンド

■ 電磁弁を外した場所へ、既存のビスを使って止水蓋を取付けます。電磁弁ユニットを既存のホースへ接続し、次にOリングを付属の新品に替え、既存のファスナーを使って接続部へ接続します。

■ 既存のビスと固定金具（２点）を使って、内部ボックスの開口部を挟み込むように取付け枠と既存の洗浄管ソケットを取付けます。

電池ボックス、センサユニットを接続する

The diagram illustrates the assembly process. A rectangular main unit has a front panel labeled '洗浄管' (Cleaning Pipe) with a vertical tube protruding from it. To the left, a 'センサユニット' (Sensor Unit) is shown as a small black rectangle. Above the main unit, two '電池ボックス' (Battery Boxes) are connected via wires. A cable connects one of the battery boxes to the sensor unit. Another cable connects the other battery box to a terminal on the top of the main unit. A separate component, likely the magnetic stirrer, is shown at the top right, connected to the main unit's top terminals.

■既存の洗浄管、洗浄管ソケット、及びホースを 接続します。センサユニットと、電池ボックス（２個）及び電磁弁ユニットをそれぞれコネクタ接続します。電池ボックスは空いてるスペースに納めます。

■コード類の挟み込みに注意し、付属のビス（４点）を使ってセンサユニットを固定します。

動作確認

■ 止水栓を開放し、4.「使いかた」を参考にして動作確認をしてください。

※コード類を挟み込まないようご注意ください。
※コネクタを接続した状態で落下させたりぶら下げると、破損の原因となります。

9. お手入れ方法

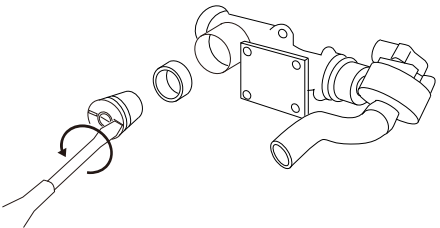
センサのお手入れ

週に1～2回程度、センサの表面を柔らかい布などで拭いてください。汚れがひどい時は中性洗剤を薄め、布などに含ませて拭き取ってください。次に水を含ませた布をよく絞って洗剤を拭き取り、最後に乾拭きしてください。

漏水点検

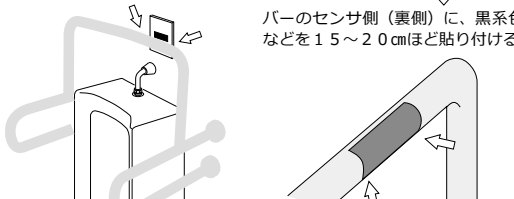
ストレーナの清掃

ストレーナ（網）が設けられており、内部への異物の侵入を防いでおりますが、ここに異物が堆積すると、水の出る量が減少し十分な機能が発揮されません。1ヶ月に1回程度、ブラシ等でストレーナを清掃してください（ストレーナ清掃の方法について詳しくは、既設の取扱説明書（INAX）をご参照ください）。



10. こんなときは？（よくあるご質問）

症状	確認項目	処置方法	参考項目
水が出ない	センサ窓の汚れ	センサ部を清掃してください	9
	止水栓が閉じている	止水栓を開放してください	8
水量が少ない	ストレーナのゴミ詰まり	ストレーナの清掃をしてください	9
	止水栓が開いていない	止水栓を開放してください	8
	本管の水量が少ない	本体を取外し、本管の水量を確認してください。	8
水が止まらない	電磁弁の接続	電磁弁の締め付け具合をもう一度ご確認ください。	8
水が止まらない (チョロチョロ)	電磁弁内のゴミ詰まり	電磁弁内に異物（ゴミ等）が侵入している可能性があります、弊社へご連絡ください	※
漏水している	部品の接続	電磁弁・止水パーツ・止水ナットの締め付け具合をもう一度ご確認ください。	8
LEDが点滅 (3秒に1回)	電池交換のお知らせ	電池交換をしてください	7
LEDが点滅 (1秒に1回)	障害物など異常検知	障害物を除去してください (障がい者用バーの場合は下記参照)	8



バーのセンサ側（裏側）に、黒色のテープなどを15～20cmほど貼り付ける。

※上記方法で改善されない場合やご不明な点は、弊社サービス窓口へご連絡ください。
株式会社バイタル サービス窓口 0267-62-4532

11. 安全上のご注意

ご使用前に『安全上のご注意』をよく読み、正しくご使用ください。

	警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
	注意	注意事項に反した取扱いをすると、使用者に傷害または物的損害が生じる可能性があることを示しています。
	禁止	記号は禁止の行為を示しています。記号の中の図は禁止事項を告げています。（左図の場合 分解禁止）

❗ 注意
 ※本製品は水道水でしか使用できません。水道水以外で使用する場合は、必ず本行担当者に

- ※本製品は水道水でご使用ください。水道水以外でご使用になったことに起因する不具合は、保証対象外となります。
- ※電気工事は、必ず資格者（電気工事士）が行ってください。
- ※AC100V 式の場合は、作業前に必ず電源ブレーカーを落としてください。
- ※既存の配管、止水栓、洗浄管、継手部などに漏水がないことを確認してください。
- ※既存品が施工手順通りに設置されていない場合や、既存部品が取外せない場合には、本製品が設置できないことがあります。
- ※本製品を取付ける際は、必ず空流し（水道管の中のサビ等の異物を除去する作業）を充分に行ってからお取付をお願いします。
- ※本製品は寒冷地仕様ではありません。凍結の恐れがある場所でのご使用の際には、必ず凍結防止ヒータなどを併用し、凍結が生じないようにご注意ください。
- ※本製品は屋外や直射日光が当たる場所ではご使用になれません。
- ※電気が切れた状態で長い期間ご使用になると、電池の液漏れが発生し、本体の故障の原因となることがあります。電池残量が少なくなるとセンサー窓のLEDが点滅し始めるため、点滅を見かけたら早めの電池交換をお願いします（乾電池式の場合）。
- ※設置後は定期的に漏水のご確認をお願いします。
- ※精密機器につき、落下などで衝撃が加わらないよう、十分にご注意ください。

禁止

※電気製品ですので本体に直接水をかけないでください。
 ※製品を分解・改造しないでください。発熱・漏電・火災の原因となります。
 ※浴室など湿気の多い場所でのご使用は、故障の原因となるので避けてください。

12. 保証規定

1. 本製品（小便器センサ再生キットREBORN）は、既存部品の一部を交換することで再びご使用できる状態にするもので、その他の既存部品や構造部に特段の影響を及ぼすことがないよう設計されております。本製品設置以降、万が一その他の既存部品や構造部分において不具合や故障が生じても、保証対象外となり弊社では責任を負いかねます。
2. 自然故障、あるいは正常な使用状態において故障が生じた場合は、お買い上げより1年間、無償にて修理をおこないます。但し付属品、梱包類、外観上の汚れ、サビ等は含みません。
3. ご贈答品や移転の場合のアフターサービスにつきましては、事前にお買い上げ店にご相談ください。
4. 保証期間中であつても次の場合は有償となります。
 - ① 上水以外でのご使用になったことによる故障や不具合。
 - ② 屋外でのご使用や誤ったご使用方法、あるいは不注意によって生じた故障や損傷。
 - ③ 凍結による破損・不具合。
 - ④ 不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。
 - ⑤ 取扱説明書に基づかない施工による損傷・不具合。
 - ⑥ 適切なご使用、維持管理を行わなかったことによる不具合。
 - ⑦ AC 式製品における異常な電圧、指定以外の電源（電圧・周波数）を供給したことによる故障、並びに周辺機器などの外部からの電磁波等による不具合。
 - ⑧ 消耗部品（電池・パッキン等）の劣化や破損、またはそれらに起因する不具合。
 - ⑨ 火災、風水害、地震、雷、その他天変地異ならびに公害、塩害、異常気象など外部要因によって生じた故障や損傷。
 - ⑩ 開閉弁に水垢や化学物質、その他異物が付着したことに起因する不具合。
 - ⑪ 配管内の異物やゴミ等に起因する動作不良や吐水量の減少。
 - ⑫ 保証書の紛失、あるいは必要事項の未記入、または字句を勝手に訂正された場合。
5. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。